第4種 サロマ湖漁港
（北海道北見市・佐呂間町・湧別町）

サロマ湖地区特定漁港漁場整備事業計画

サロマ湖地域マリンビジョン策定（モデル地域）

網走中部
第1圏域
流通拠点

現状と課題

・沿岸漂砂による浅瀬の形成や航路内への堆砂、高波浪の増加による侵食が生じ、漁船の航行に支障を来している。また、湖口が閉塞した場合には、湖内と外海との海水交換機能が低下し、湖内環境の悪化が懸念されている。
・流氷接岸時にアイスブームの被害が生じた場合における迅速な復旧体制の確保が求められている。

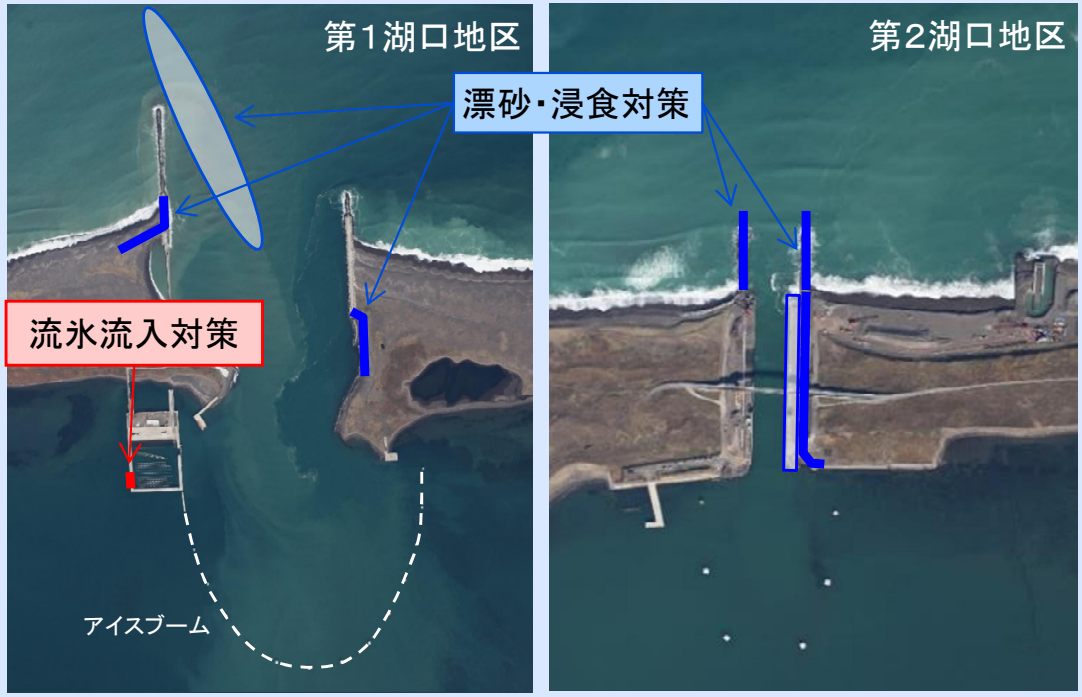
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：－
利用漁船：－
（内、外来漁船：－）
属地陸揚量：－
属地陸揚金額：－
主な魚種：－
組合員数：－

◎サロマ湖漁港の役割

・オホーツクのホタテガイ漁業を支える拠点
・湖内漁業を流氷被害から回避し、沖合を操業する漁船の避難機能を確保するための湖口航路

主　要　対　策



主な整備方針

・航路を航行する漁船の安全性を確保するとともに、漂砂による航路埋没や浅瀬の形成等を防止し、湖水と外海の海水交換機能を保持するため、湖口航路拡幅による堆砂に対するフラッシュ機能の強化や沿岸漂砂を抑制する護岸、防砂堤、航路等の整備を行う。
・流氷接岸時においてアイスブームの迅速な復旧作業を可能とする防波堤の改良（ゲート設置）を行う。

基本事項

全体事業費：67．4億円
事業期間：R2～R11

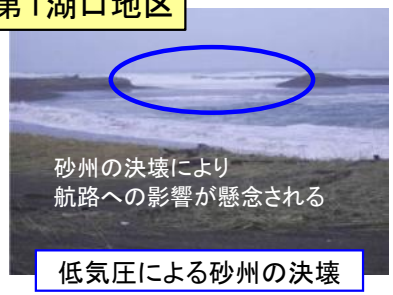
主要な対策①：漂砂・浸食対策

第2湖口地区

低気圧による航路埋没状況

港口航路の擾乱状況

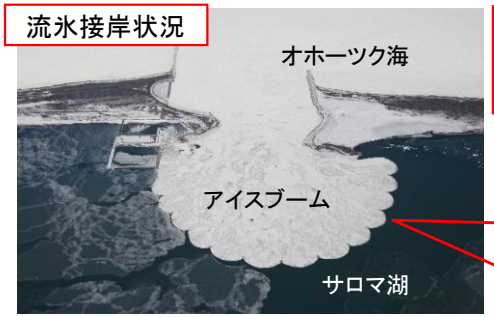
第1湖口地区



低気圧による砂州の決壊

主要な対策②：流氷流入対策

流氷接岸状況



流氷接岸時にアイスブームに被害が生じた場合、迅速な復旧が必要

アイスブームの被害